

市民参加の取組状況について（ワークショップ）

■ 開催概要

【テーマ】

- ・ これからのごみ減量・資源循環について考えよう

【日 時】

- ・ 8/9（日） 13:30～16:30

【会 場】

- ・ HOKKAIDO xStation01
中央区北5条西5丁目1番地5JR 55 SAPPORO 6階

【対 象】

- ・ 満18歳以上の札幌市民

【参加人数】

- ・ 16名の市民が参加
(10代2名/20代1名/30代2名/40代3名
/50代3名/60代3名/70代以上2名)

【グループ】

- ・ 3つのグループに分かれて議論

【ワークショップで出た意見】

- ・ 次頁に記載

【当日の様子】



市民参加の取組状況について（ワークショップ）

Q1 普段の暮らしの中で、ごみの減量について意識していること、悩みや課題はどんなことですか。

拠点回収に出しづらい

- 拠点回収場所がわからない
- 持って行くのが手間
- 回収場所が遠い、車がない など

容器包装プラスチック、雑がみの悩み

- 容器包装プラか否かの判断が難しい
- 家に置き場所が無い、店で捨てたい
- どうやって再資源化されているのか知らない など

食品ロスや生ごみ減量の情報不足

- フードバンクの窓口がわからない
- 事業者からの食品ロスや、事業者への指導が知りたい
- 職場での分別基準が甘い など

リユース・その他など

- 市の販売場所（リユースプラザ）の場所を知らない
- リユースする場所や機会が少ない
- バッテリーを内蔵した製品の捨て方がわからない など

Q2 ごみの減量や資源循環について、「すでにできていること」「まだできていないこと」はどんなことですか

「すでにできていること」

- 拠点回収
- 回収協力店舗に出している
- 水洗いして汚れを取り除いている
- 資源化できるものは分別している
- フードロスを出さないように買いもの調整している

「まだできていないこと」

- 生ごみの堆肥化
- わかりやすいプラ、紙、びん・缶・ペットボトルなどは分別できているが、その他のプラがまだイマイチわからない
- 分別のためのごみ箱がない
- 家族へのごみ分別方法の共有（最終的に自分がやっている）
- 不要なものを買わない（リフューズ）

市民参加の取組状況について（ワークショップ）

Q3 ごみの減量や資源循環について、「まだできていないけれど、これからやってみよう」と思っていることはありますか

【拠点回収】

- 民間企業等の、札幌市以外が行っているペットボトル回収・牛乳パック回収の利用
- 拠点回収の利用

【シェアリング】

- シェアリングサービス全般の利用（自転車・マイバックなど）
- 買い物かごのシェアリング（QRコードで管理、スーパーで回収）

【リユース・リサイクル】

- リユースショップの活用・古着のリユース
- リサイクルをもっとする
- フリマアプリを使用するとき、送る際の緩衝材再利用

【買い物】

- 簡易包装を選ぶ
- 長く使えるものを買う（服など）、捨てる前提で買わない（格安商品など）
- スーパーのポリ袋をなるべくもらわない（リフューズ）

【その他】

- 生ごみをあまり出さないようにする、堆肥化を行いたい
- マイバッグ・マイボトル（水筒・タンブラー）の利用

Q4 どんな要素や環境があれば、もう一歩ごみ減量や資源循環の行動に踏み出せそうでしょうか

拠点回収・店舗回収の場所の増加

- 地下鉄駅に回収BOXを置いてほしい
- マンションに24時間利用できる資源物の置場が欲しい
- 児童会館や学童に回収拠点の設置 など

市の分別周知や普及啓発の充実

- アプリでのAIを用いた分別検索機能
- 学校の授業での教育
- 行政による、企業努力への歩み寄り など

堆肥化をしやすい環境の整備

- 生ごみ堆肥を利用した家庭菜園スタートキットが欲しい
- 海外のように、有料定額の公共コンポストの設置
- 生ごみ処理機は費用がかかる、置き場所に困る など

ごみ減量の取組の充実

- 手入れや修理、長持ちさせるコツの共有
- ごみ減量をすることで、なにかに使えるポイントの付与
- 傘のシェアリングなどの普及 など